

各位

令和元年 7 月吉日
一般社団法人
日本コンクリート防食協会

令和元年度「コンクリート防食技士」 技術検定講習・検定試験開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本コンクリート防食協会の活動にご理解とご協力頂き有り難く御礼申し上げます。

さて、令和元年度「コンクリート防食技士」の技術検定講習並びに検定試験の実施について、ご案内いたします。

平成 29 年度より、コンクリート防食技士認定資格制度を改定し、従来の工法別（塗布型・シート・モルタル）から、コンクリート防食技士の一本化を図り、工業会、工法協会等のプライベートライセンスとの役割を明確にすることといたしました。

案内内容を十分ご理解いただきますよう、お願いいたします。

なお、申し込みの受付は、先着順と致しますのご理解いただきますよう、お願い致します。

【 資格取得の位置づけについて 】

- (1) コンクリート防食技士は、水処理施設すべての防食工事の品質管理を担当する技術者として認定する。
「防食工事が行なわれる施設の事例」：
〔下水道、上水道、農・漁業集落排水等下水道類似、工業用水、農業用水、ごみ処理・処分、栽培漁業、電力、その他民間排水処理等〕
- (2) コンクリート防食技士は、防食工法に関わる任意団体（工法協会・工業会・研究会等）が実施するプライベートライセンス取得時講習を受講、または、中央職業能力開発協会の行う国家技能検定「強化プラスチック成形（積層防食作業）」1級合格者で、任意団体により、コンクリート防食の工法と使用材料の基礎知識、防食施工に一定レベルの知識を持つことが認定された者に対し、コンクリートの基礎知識、コンクリートの各種劣化とメカニズム、コンクリート防食の施工と施工管理、コンクリート防食の品質検査などに関して、日常の技術的業務を実施する能力のある技術者として認定し、法人資格として与える称号。
- (3) 日本コンクリート防食協会の「賠償責任保険」の加入条件として、コンクリート防食技士認定者が品質管理を行う工事としている。

令和元年度 コンクリート防食技士講習会及び検定試験のご案内

一般社団法人 日本コンクリート防食協会

一般社団法人日本コンクリート防食協会（以下、日防協と略す）、令和元年度「コンクリート防食技士」の講習会と検定試験を、以下の通り実施いたしますのでご案内いたします。

なお、損害賠償保険の加入条件に、「コンクリート防食技士」による品質管理を必須としています。保険加入を検討されている場合は、コンクリート防食技士の認定資格を取得した方が必要となりますのでご注意ください。

—— 記 ——

1. 資格取得者に交付するもの及び資格の有効期間

(1) 検定試験に合格された方には、「コンクリート防食技士」として認定するとともに、以下のものを交付します。

- 1) 登録証
- 2) 認定カード（免許証サイズ写真付き）

注) 登録証、認定カード発行に伴い、合格発表後合格者から登録料を申し受けます。

登録料 6,000 円 (税込: 6,480 円)

(2) 有効期間

コンクリート防食技士資格の有効期間は、5年間とします。

ただし、所定の更新講習を受講すれば継続できます。

また、有効期間内に JS 防食技術マニュアル又は防食工事施工・品質管理の手引き（案）が改訂された場合は、指定の講習会受講をお願いする場合がありますので、予めご承知下さい。

2. 受験資格

コンクリート防食技士の検定試験を受検できるのは、令和元年 8 月 1 日時点において表 1 のいずれかに該当する方となります。また、何れの場合も、有効期限を超過していないことが必要です。

注) コンクリート防食技士受験申込時点で新規又は更新試験を受検し合格しているが、合格証が未発行で提出できない場合は、その旨申し入れを行ったうえ、9 月 14 日（土）までに新しい合格証のコピーが提出できることとします。

表 1 コンクリート防食技士受験資格

資格	コンクリート防食技士受験資格
(1)	防食被覆工法（塗布型ライニング工法・シートライニング工法・モルタルライニング工法）の受験を希望するいずれかの工法の施工管理経験を 3 年以上有し、かつ、防食被覆材料製造業者及び施工者を網羅する団体によって使用材料の施工管理能力を有すると認定された者。
(2) 注)	職業能力開発促進法に基づく技能検定のうち、「強化プラスチック成形（積層防食作業）」1 級合格者で、かつ、防食被覆材料製造業者及び施工者を網羅する団体によって使用材料の施工管理能力を有すると認定された者。 注) 当該資格要件は、塗布型ライニング工法のうち、エポキシ樹脂系及びビニルエステル樹脂系防食被覆材料を用いる塗付け型補強材積層仕様工法に限る。

注) 技能検定合格書及び施工管理能力を有することが、認定証（プライベートライセンス）等により証明できるものが提示できること。

【ご注意】受検される方は、コンクリートの特性やコンクリートの劣化要因及び施工管理についての知識・技術の理解を深めるため、コンクリート防食技士講習会を必ず受講していただきます。

3. 令和元年度コンクリート防食技士講習会及び検定試験

(1) 講習会及び検定試験の開催地・定員・会場

注) 検定試験を受験する方は、講習会受講が必須です。

	開催地	開催日時	定員	会場
講習会	大阪	10月4日(金) 9:40~17:00 (受付) 9:15	45名	【エル大阪】 大阪府中央区北浜東3-14
	東京	10月8日(火) 9:40~17:00 (受付) 9:15	50名	【飯田橋レインボービル】 東京都新宿区市谷船河原町11番地
試験	大阪 東京	10月26日(土) 13:30~16:00 (受付) 13:00		各講習会場と同じ

(2) 受講・受験料

表2 受講料・受験料

種別	会員 ^{注1)}	非会員
受講料	12,000円	24,000円
(税込)	12,960円	25,920円
受験料	6,000円	
(税込)	6,480円	
合計	18,000円	30,000円
(税込合計)	19,440円	32,400円

注1) 会員とは、日防協に登録された会員会社を指します。受講・受検者はその社員に限ります。日防協のホームページ内の会員名簿（第2種正会員）にてご確認下さい。

注2) 受講・受験料は、主催者側の都合により中止する場合以外は、一切返金いたしません。

注3) 平成30年度に受講料を納入し、講習会を欠席された場合は、令和元年度の受講料は免除します。検定試験受験料のみを納入ください。

注4) 平成30年度に講習会を受講したが、やむを得ない事情で試験を受検できなかった場合は、令和元年度の講習会は免除します。令和元年度は受験料のみを納入して受検できます。

* 注3)～注4)の適用は今回限りとなります。

注5) 講習会を欠席した場合は、試験は受検できませんのでご注意ください。

注6) 合格者には、合格発表後認定証・資格者証(カード)の発行費用として、登録料(税込:6,480円)を別途申し受けます。

(3) 講習会・試験の実施概要

1) 講習会の講習科目 (案)

講習科目	予定講習時間 (分)
「基礎編」 コンクリートの基礎知識、防食の基本、JIS A7502 の概要、 既設コンクリート、被覆層の調査・診断	100
「施工と品質管理Ⅰ」 防食工事の役割と責任、準備、躯体の事前確認、塗布型、 成型品後貼り型シート、プリプレグ後貼り型シート	100
「施工と品質管理Ⅱ」 型枠型シート、モルタル工法、施工管理、既設コンクリートの 修繕・改築	100

2) 試験の出題概要 (計画)

- ① 試験時間 100分 (1時間40分)
- ② 問題数
 - (ア) 真偽法 (○×式) 25問
 - (イ) 四肢択一法 25問
 - (ウ) 記述式 2問 「1:経験記述、2:選択記述 (5問の内から1問を選択)」

5. 受講・受検申込期間

令和元年7月25日(木)～8月26日(月)「消印・受付印有効」

各会場の受付は定員になり次第締め切りますので、この期間の消印・受付印の先着順となります。

注) 申込書は信書となりますので、必ず郵便又は信書便(宅配)でお願いします。

6. 受講・受検料振込先

みずほ銀行 神田支店(108) 普通 1225083
一般社団法人 日本コンクリート防食協会
シャ) ニホンコンクリートボウシヨクキョウカイ
振り込み手数料は、受験者の負担でお願いします。

7. 申込書送付先・お問合せ先

一般社団法人 日本コンクリート防食協会 事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-4-5 レイアード大手町ビル401

Tel 03-5280-3071 fax 03-5280-3073

携帯電話 090-4453-4549 e-mail: office@nichibokyo.jp